

第 I 章 大気汚染と燃料使用量等の概況

1 大気汚染の現状

大気汚染は、一般に工場・事業場の活動や自動車の走行により排出される汚染物質によって引き起こされる。

県下には、大気汚染の固定発生源として、ばい煙や粉塵が発生する恐れのある大気汚染防止法対象の工場・事業場が平成6年3月末現在で延べ4,066あり、同法の規制対象となっているばい煙発生施設数は10,366、特定粉じん発生施設数は114、一般粉じん発生施設数は2,000ある。

一方、移動発生源の一つである県内の自動車保有台数は、平成6年3月末現在約352万2千台で、平成5年同期と比べて約8万5千台増加している。

神奈川県下には、大気汚染の状況を常時把握すると共に、大気汚染の悪化に対処するため、平成6年3月末現在、一般環境大気測定局52カ所、自動車排出ガス測定局29カ所、移動測定局3カ所、立体気象観測局が3カ所配置され大気環境状況を常時監視している。

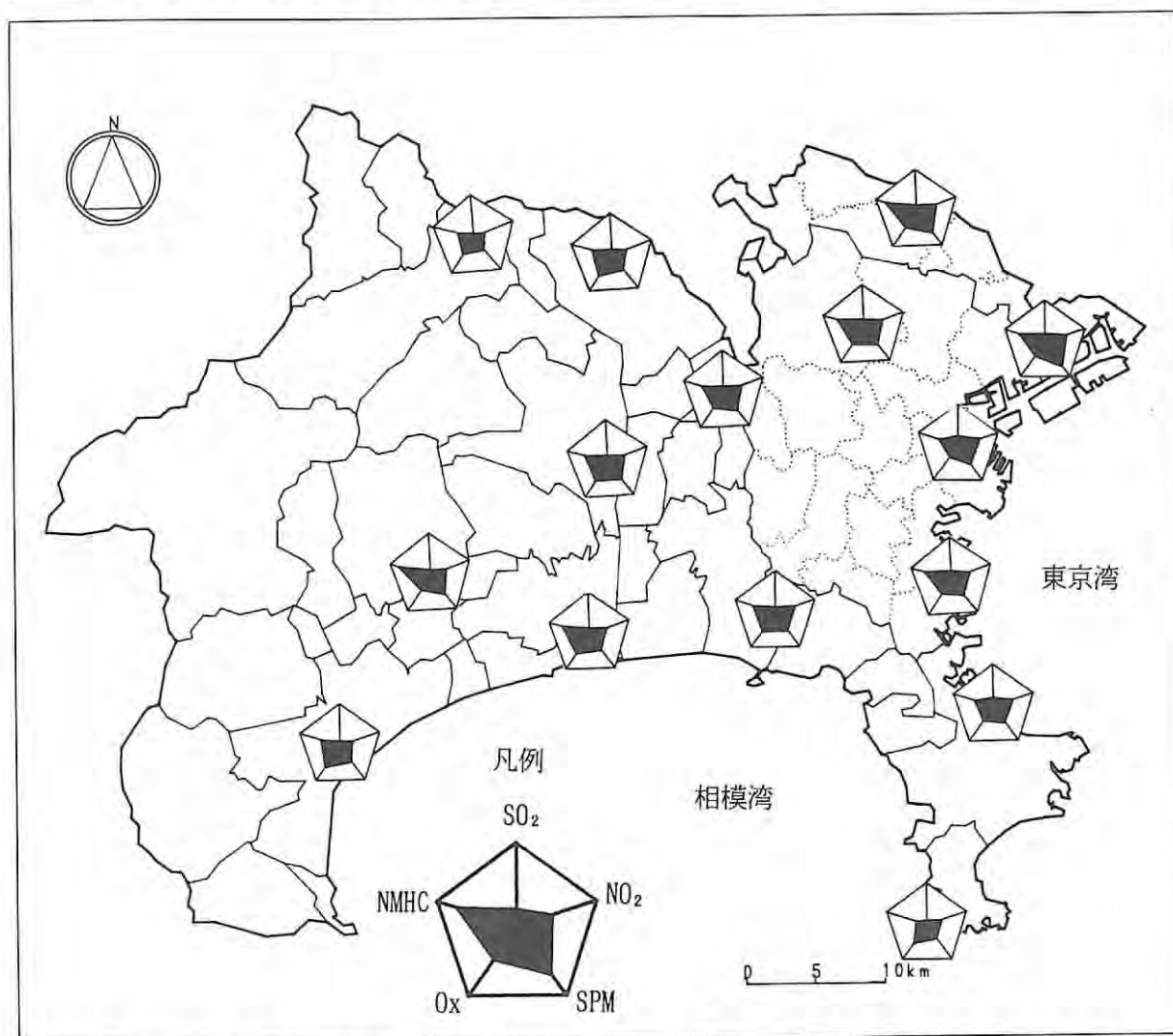
平成5年度の常時監視測定結果の概要は次の通りである。

まず、一般環境大気測定局における大気の汚染状況についてみると、

- ① 二氧化硫黄は、ここ数年間低濃度で、横ばいの状況で推移し、全測定局（52測定局）で環境基準（長期的評価）に適合している。
- ② 窒素酸化物のうち二酸化窒素は、年平均値では対前年比では若干減少したものの依然として高濃度で推移しており、環境基準の適合状況でみると、52測定局中21測定局で環境基準に適合していない。また、一酸化窒素は長期的にはほぼ横ばいの状況にある。
- ③ 一酸化炭素は、長期的にみても低濃度で推移しており、全測定局（18測定局）で環境基準に適合している。
- ④ 光化学オキシダントは、ここ数年横ばいの状況にあり、51測定局の全てで環境基準に適合しなかった。なお、光化学スモッグ注意報の発令日数は9日であり、被害の届出者数は3人であった。
- ⑤ 浮遊粒子状物質は、年平均値では対前年比では減少したものの依然として高濃度で推移しており、52測定局中45局で環境基準（長期的評価）に適合しなかった。
- ⑥ 非メタン炭化水素は、過去10年間で最も低い濃度であった。

次に、道路近傍に設置している自動車排出ガス測定局における汚染状況についてみると、窒素酸化物のうち、二酸化窒素は高濃度で推移しており、27測定局中21測定局で環境基準に適合していない。また浮遊粒子状物質についても、19測定局中16測定局で環境基準に適合していない。なお、一酸化炭素については長期的に低濃度で推移しており、全測定局（25測定局）で環境基準に適合している。

2 主要な大気汚染物質濃度の地域分布（環境基準値等との対比）



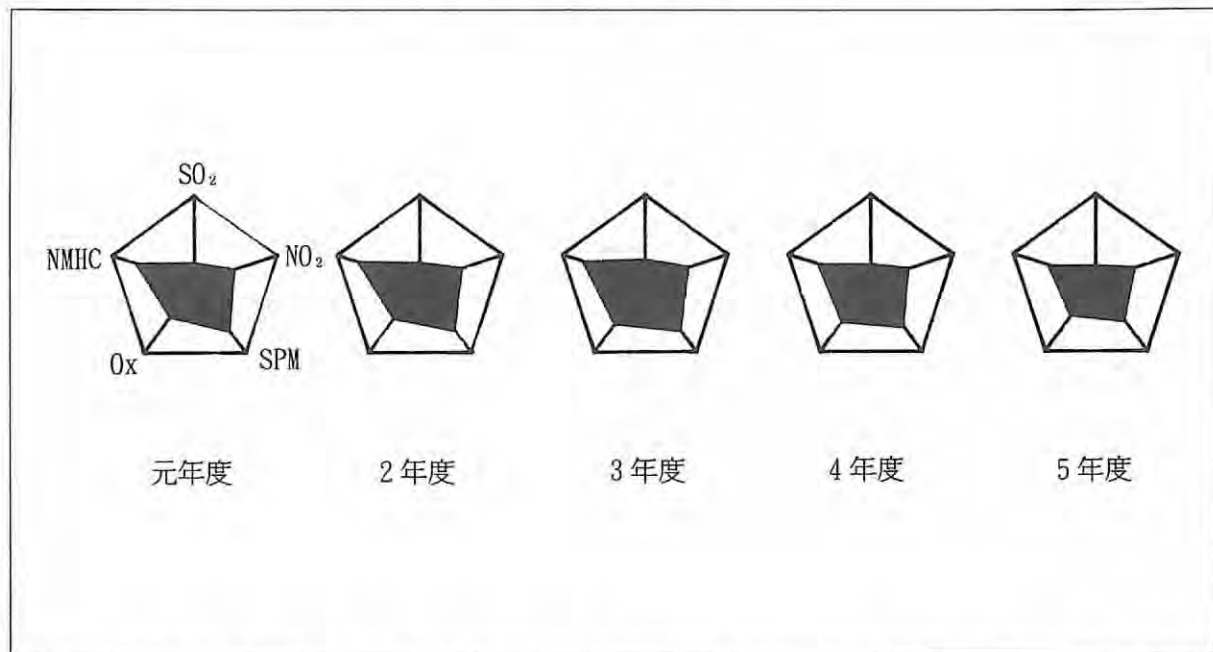
図は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、オキシダント及び非メタン炭化水素の濃度を環境基準値等で除した数値を最大値2とした割合で示す。

二酸化硫黄 (SO ₂)	: 日平均値の2%除外値/0.04 (環境基準値)
二酸化窒素 (NO ₂)	: 日平均値の年間98%値/0.06 (環境基準値)
浮遊粒子状物質 (SPM)	: 日平均値の2%除外値/0.1 (環境基準値)
オキシダント (OX)	: 1時間値の年間最高値/0.12 (注意報発令基準値)
非メタン炭化水素 (NMHC)	: 6時～9時の年間平均値/0.31 (オキシダント生成防止のための指針値)

二酸化硫黄は、全地域で低い値となっているが、二酸化窒素は、横浜、川崎及びその周辺地域で高く、浮遊粒子状物質は、川崎市臨海部で特に高くなっている。

また、オキシダントは、横浜市、川崎市の内陸部及び小田原で高く、非メタン炭化水素は、川崎、秦野市で高くなっている。

3 主要な大気汚染物質濃度の推移（環境基準値等との対比）

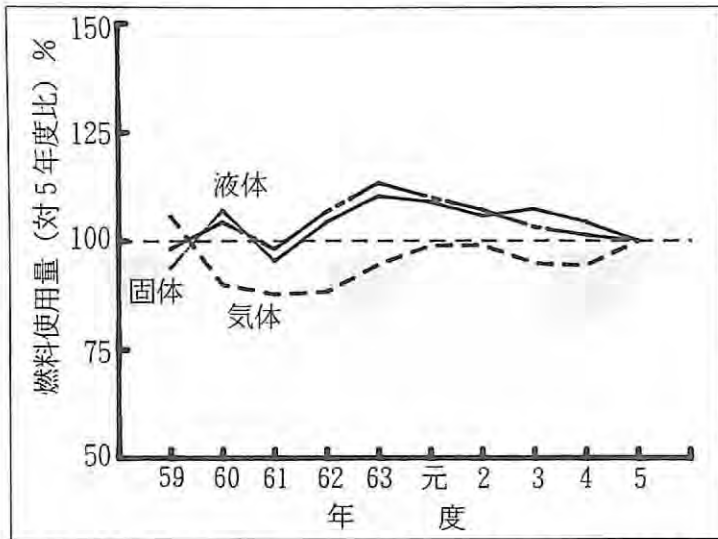


図は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、オキシダント及び非メタン炭化水素の一般環境大気測定局の平均濃度を環境基準値等で除した数値を最大2とした割合で示す。

なお、計算方法は、「2 主要な大気汚染物質濃度の地域分布」と同じである。

平成5年度はすべての項目で前年度と比較して低い値となったが、二酸化硫黄を除いてはいぜんとして高い値で推移している。

4 燃料使用量の推移（工場・事業場）



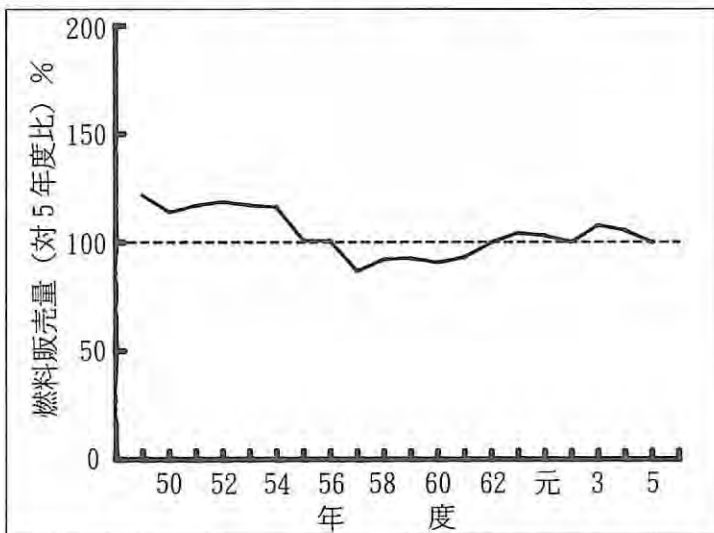
燃料使用量の推移をみると、気体燃料、固体燃料は昭和63年以降若干の減少傾向にある。また液体燃料はこの2年間減少の傾向にあったが今年度は増加に転じた。

なお、平成5年度の燃料使用量は次のとおりである。

液体燃料	$5,565 \times 10^3 \text{kl}$
固体燃料	$1,600 \times 10^3 \text{t}$
気体燃料	$17,959 \times 10^3 \text{Nm}^3$

図は、横浜、川崎、横須賀の3市が毎年実施している市内の工場・事業場に対する燃料使用量調査結果から、燃料種類ごとに求めた年間使用量を平成5年度に対する割合で示す。

5 燃料油販売実績の推移



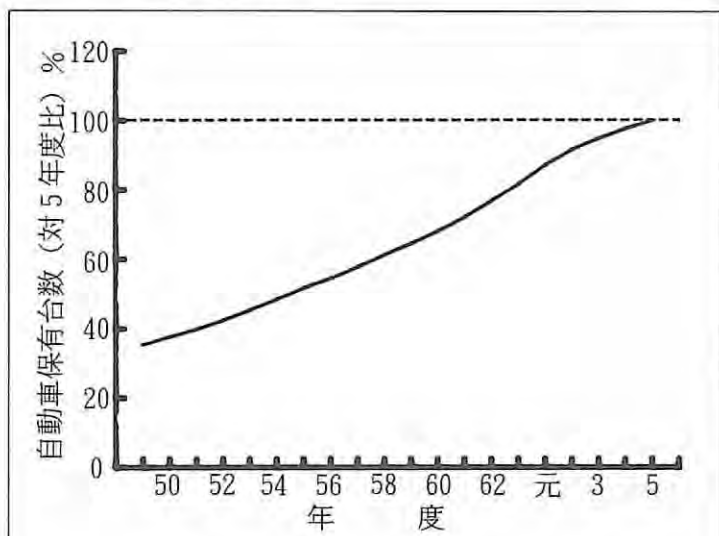
県内の燃料油販売実績をみると、昭和57年以降若干増加の傾向にあったが今年度は前年度と比較して約5%減少し、2年連続の減少となった。

なお、平成5年度の県内販売量は $13,294 \times 10^3 \text{kl}$ であり、全国の約5.8%を占めている。

（資料：石油連盟 石油資料月報）

図は、燃料油販売実績を平成5年度に対する割合で示す。なお、燃料油とは、ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油及び重油である。

6 自動車保有台数の推移



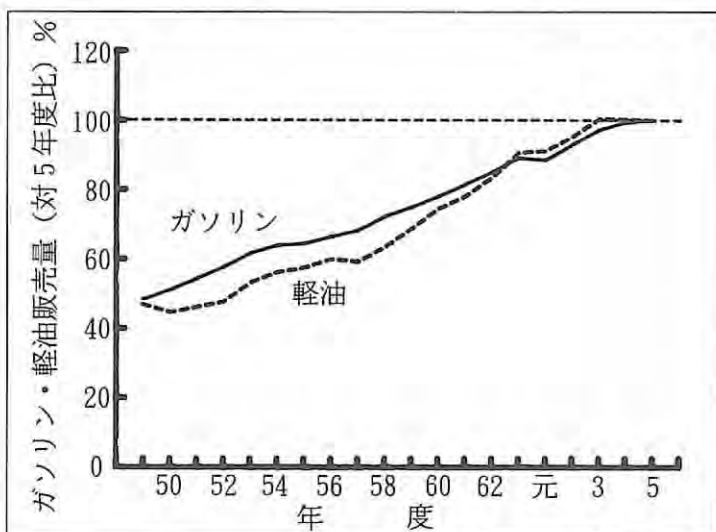
(資料：運輸省関東運輸局神奈川陸運支局調べ)

図は、神奈川県内における自動車保有台数を平成5年度に対する割合で示す。

県内の自動車保有台数の推移を見ると、昭和49年度には126万台(対5年度比35.8%)であったが、ほぼ毎年10万台以上の増加が続き、平成5年度は352万台となっている。

伸び率からみると平成5年度は前年度比2.5%増であったが、ここ数年は鈍化の傾向が見られる。

7 ガソリン及び軽油販売実績の推移



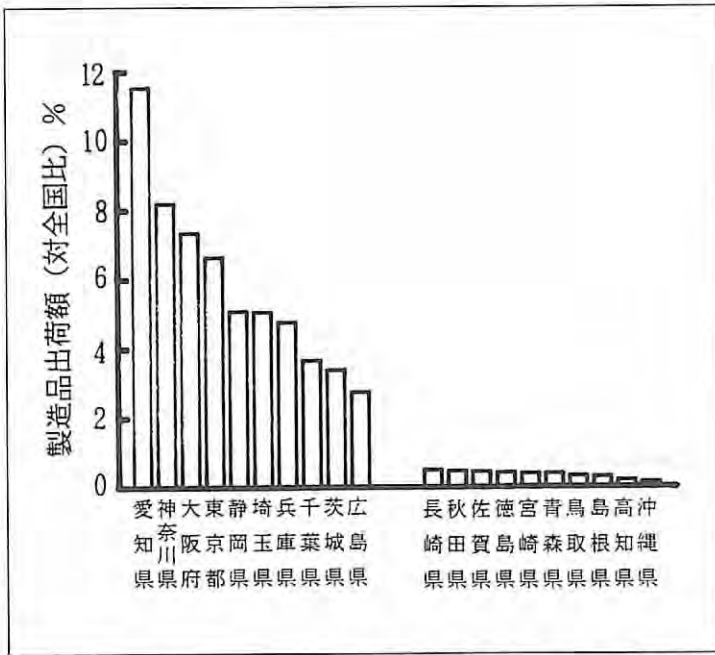
(資料：石油連盟 石油資料月報)

図は、神奈川県内におけるガソリン販売量及び軽油販売量を平成5年度に対する割合で示す。

県内のガソリン及び軽油の販売実績は、20年前の昭和49年度には、共に現在の50%程度であった。その後石油危機等による影響をのぞき、ほぼ一貫して増加してきたが、今年度はガソリンについては前年度比0.5%の増加にとどまり、また軽油については2年連続で減少し、前年度比0.5%の減少であった。

なお、平成5年度の県内における販売量は、ガソリンが259万kl、軽油が185万klであり、それぞれ全国の5.3%、4.5%を占めている。

8 都道府県比較による工業製造品出荷額等



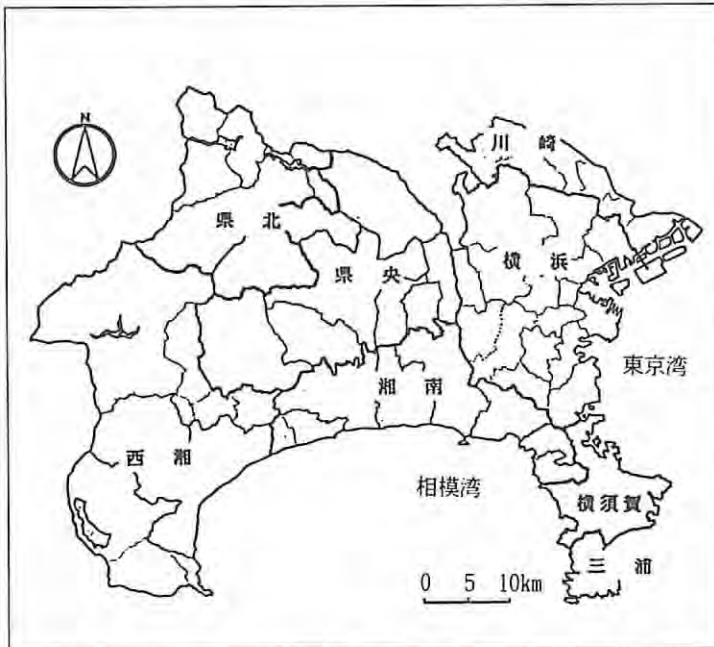
神奈川県における平成4年の工業製造品出荷額等は27兆 1,022億円で、愛知県の38兆 968億円に次いで全国第2位にある。

全国の総出荷額は、329兆5,206億円であり、本県の占める割合はその8.2%にあたる。

(資料：通商産業省工業統計表)

図は、平成4年の各都道府県における工業製造品出荷額等を全国に対する割合で示す。

9 大気汚染緊急時措置発令地域区分と対象工場数



オキシダントの緊急時措置発令(光化学スモッグ)は、県内を8地域に分けて実施している。

緊急時措置対象工場は、協力工場も含め全県で104工場あり、地域別の内訳は次のとおりとなっている。

横浜地域	32工場	1工場
川崎地域	34工場	重複
横須賀地域	3工場	
湘南地域	11工場	
県中央地域	18工場	
西湘地域	6工場	
県北地域	1工場	

なお、緊急時措置対象工場とは、燃料使用量が特に多い工場を一定の基準により選択したもので、「主要ばい煙排出者」ともいう。

図は、神奈川県における大気汚染緊急時措置の発令地域区分を示す。

10 ばい煙発生施設の設置状況（地区別）

（平成6年3月31日現在）

地区	施設数 (%)	工場・事業場数 (%)
合計	10,366 (100)	3,843 (100)
横浜地区	3,273 (31.6)	1,308 (34.0)
川崎地区	1,904 (18.4)	636 (16.5)
横須賀・三浦地区	655 (6.3)	258 (6.7)
県央地区	1,898 (18.3)	732 (19.0)
湘南地区	1,842 (17.8)	539 (14.0)
足柄上地区	132 (1.3)	63 (1.6)
西湘地区	573 (5.5)	262 (6.8)
津久井地区	89 (0.9)	45 (1.2)

県下には、大気汚染防止法の規制対象施設であるばい煙発生施設が10,366ある。地区別にみると、横浜地区(3,273)が最も多く、次いで川崎地区(1,904)、県央地区(1,898)、湘南地区(1,842)の順となっている。

なお、横浜、川崎の両地区だけで全体の約半数を占めている。

表は、県下各地区に設置されているばい煙発生施設及び工場・事業場の数を表す。なお、()内数値は全県に占める割合を示す。

11 ばい煙発生施設の設置状況（種類別）

（平成6年3月31日現在）

順位	機種	施設数
	合計	10,366
1	ボイラー	6,968
2	ディーゼル機関	987
3	金属加熱炉	587
4	焼却炉	390
5	乾燥炉	381
6	ガスタービン	221
7	溶解炉	186
8	石油加熱炉	175
9	窯業炉	86
10	塩素反応施設	77
11	鉛蓄電池溶解炉	73
12	ガス機関	66
13	反応炉等	43
14	電気炉	37
15	ガス発生炉	18
16	鉛溶解炉	11
17	焼結炉等	10
18	溶鉱炉等	9
18	硫黄燃焼炉	9
20	鉛顔料製造用溶解炉	7
21	コークス炉	6
22	触媒再生塔	4
23	カドミウム乾燥施設	3
24	銅・鉛・亜鉛の焙焼炉等	2
24	ガソリン機関	2
26	弗酸製造施設	1

大気汚染防止法には33種類のばい煙発生施設が指定されているが、県下には26種類の施設が設置されている。そのうち67.2%がボイラー(6,968)であり、次いでディーゼル機関、金属加熱炉、焼却炉、乾燥炉の順となっている。

表は、大気汚染防止法の規制対象となっている33種類に施設のうち、本県に設置されている26種類について、種類ごとの設置施設数を示す。

12 気象概況

4月 月初めは気温は高めであったが、その後上空に真冬並の寒気が入るなどし、10日間ほど低温の日が続いた。この傾向は月半ばにはいったん回復したが、月後半は、前線や低気圧の影響で寒暖の差が激しかった。また月間を通じて天気には大きな崩れはなく、気温はやや低めであったが降水量はかなり少なく、日照は平年並みであった。

5月 天気はほぼ周期的に変化し、前月に引き続き寒暖の差が激しく、少雨の傾向が続いた。上旬は上空の寒気の影響で肌寒い陽気が続いた。中旬に入ると旬半ばには南高北低の気圧配置となり晴れて気温も高くなったが、旬半ば以降は北系の高気圧に覆われ、晴れても気温の低い日が続いた。下旬は雨は降っても大きな崩れはなく、高気圧に覆われ晴れた日が多かった。

6月 2日から4日にかけて発達した低気圧が通過し、これに伴い関東地方では平年より7日早く6月2日に梅雨入りとなった。梅雨入り後は天気は短周期で変化し、一時的に晴れることはあっても長続きしなかった。特に中旬以降は前線や低気圧の影響で曇や雨の日が多く、前線活動もときどき活発になり所々でまとまった雨が降った。

7月 例年になくオホーツク海高気圧の勢力が強かったため梅雨前線が日本の南海上に停滞することが多く、上旬には一時的に晴れ間も現れたが長続きせず、曇雨天で梅雨寒むの日が下旬半ばまで続いた。月末にはようやく台風の通過に伴い夏空が広がったため、27日に平年より7日遅い梅雨明けが一旦は発表された。

8月 上旬を中心にオホーツク海高気圧の勢力が非常に強く、日本付近に前線が停滞したため曇雨天の日が続いた。また、北東の冷たい風が卓越したため記録的な低温が続いた。下旬にはようやく夏らしい天候も現れたが、太平洋高気圧の勢力は弱かった。このため気象庁は7月末に発表した梅雨明けを「今年の梅雨明けは特定できなかった」と修正した。

9月 上旬には台風14号、15号が相次いで西日本を通過したため台風の通過後には一時的に晴れたが、本州の南岸沿いには秋雨前線の停滞する日が多く、曇雨天で気温の低い日が多かった。中旬には移動性高気圧の通過もあり天気は周期的に変化したが、下旬には月末前に3日間秋晴れが続いたものの、秋雨前線の活動がやや活発となり、曇雨天で低温の日が続いた。

10月 上旬から中旬にかけては前線が日本の南海上に停滞することが多く、また7日と8日には台風が相次いで関東の南海上を通過した。このため台風の通過後には一時的に高気圧に覆われ2、3日晴天が続いたが、曇雨天の日が多かった。下旬には高気圧に覆われ、一週間ほど晴天が続いたが、月末には深い気圧の谷の通過に伴い荒れ模様の天気となった。

11月 月初めは高気圧に覆われ晴れの日が多かった。その後日本の南海上に一時的に前線が現れたが大きな崩れはなかった。中旬に入ると再び前線が発生し、13日には深い気圧の谷の通過に伴い関東南部では100mm以上の雨を記録したが、その後は高気圧に覆われ暖かな日が多くなった。下旬は天気は晴れの日が多かったが冬型の気圧配置になるなどで南岸を中心に強い風の吹く日が多かった。

12月 月前半は前線や低気圧の通過などで天気は小刻みに変化したが、後半には冬型の気圧配置がときどき現れ天気は晴れる日が多かった。22日に冬型の気圧配置が強まって寒気が入り、東京では初雪が観測された。

1月 上旬は冬型の気圧配置が長続きせず、弱い気圧の谷が次々と通過したが、天気の崩れはほとんどなかった。中旬には日本付近を低気圧や前線が通過し、冬期としては短い周期で天気は変化したが、下旬には強い寒気が断続的に南下し晴れて寒い日が多かった。28日の夜には日本の南岸沿いを低気圧が東進し関東の平野部でもまとまった雪が降った。

2月 月前半は寒暖の差が大きく、9日には平年より17日早く関東地方に春一番が吹いたが、12日には関東の広い範囲に大雪が降り、その後上空に強い寒気が入ったため月半ばまで寒い日が続いた。月後半は、21日から22日にかけて日本近海で発達した低気圧により大荒れの天気になったほかは晴れて暖かい日が多かった。

3月 上旬から中旬にかけては高気圧が北に偏ることが多く、日本の南海上の前線の影響を受けるなどで曇や雨の日が多く気温も低めに推移した。下旬にはいると、23日にはやや発達した低気圧の通過に伴い大雨が降ったが、その後は高気圧に覆われ晴天が続き気温も高まり、ようやく春らしい天気となった。

13 環境基準適合状況

(1) 二酸化硫黄 (SO₂)

No	年度 測定局名	年度									
		S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
1	川崎市公害監視C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	大師保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	田島保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	幸保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5	中原保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	旧高津区役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7	宮前区鷺沼配水所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	登戸小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎
9	麻生区弘法松公園	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	鶴見区下野谷小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
11	鶴見区生麦小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
12	港北区総合庁舎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13	神奈川区総合庁舎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	西区平沼小学校	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎
15	神奈川県庁	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
16	中区加曾台	△	◎	◎	△	△	△	△	△	△	△
17	中区本牧	△	◎	△	△	△	△	◎	◎	△	△
18	南区横浜商業高校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
19	港南区野庭中学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20	磯子区総合庁舎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
21	金沢区長浜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
22	戸塚区汲沢小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
23	保土ヶ谷区桜丘高校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
24	旭区鶴ヶ峯小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
25	瀬谷区南瀬谷小学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
26	緑区都田中学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
27	栄区犬山小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎
28	横須賀市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
29	横須賀市追浜行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
30	横須賀市久里浜行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
31	横須賀市西部行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
32	横須賀市衣笠行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
33	三浦市三崎中学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
34	逗子市役所	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
35	鎌倉市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
36	藤沢市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
37	藤沢市湘南台	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎
38	茅ヶ崎市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
39	平塚市役所	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
40	小田原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎
41	南足柄市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
42	秦野市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
43	伊勢原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
44	厚木市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
45	大和市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
46	海老名市役所	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎
47	座間市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
48	相模原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
49	相模原市相模台	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
50	相模原市橋本	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
51	愛川町角田	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
52	津久井町中野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価とも環境基準に適合していることを示し、△印は、長期的評価は適合しているが、短期的評価評価が不適合を示す。

(2) オキシダント (Ox)

No	年度 測定局名	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
1	川崎市公害監視C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	大師保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	田島保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	幸保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	中原保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	旧高津区役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	宮前区鷺沼配水所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8	登戸小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
9	麻生区弘法松公園	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10	鶴見区下野谷小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	鶴見区生麦小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	港北区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
13	神奈川区総合庁舎	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
14	西区平沼小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15	神奈川県庁	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	中区本牧	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17	南区横浜商業高校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
18	港南区野庭中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19	磯子区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
20	金沢区長浜	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
21	戸塚区汲沢小学校	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×
22	保土ヶ谷区桜丘高校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23	旭区鶴ヶ峰小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
24	瀬谷区南瀬谷小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
25	緑区都田中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
26	栄区犬山小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
27	横須賀市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
28	横須賀市追浜行政C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
29	横須賀市久里浜行政C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30	横須賀市西部行政C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
31	横須賀市衣笠行政C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
32	三浦市三崎中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
33	逗子市役所	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
34	鎌倉市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
35	藤沢市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
36	藤沢市湘南台	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
37	茅ヶ崎市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
38	平塚市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
39	小田原市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
40	南足柄市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
41	秦野市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
42	伊勢原市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
43	厚木市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
44	大和市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
45	海老名市役所	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
46	座間市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
47	相模原市役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
48	相模原市相模台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
49	相模原市橋本	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
50	愛川町角田	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
51	津久井町中野	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

注) 表中の○印は、環境基準に適合していることを示し、×印は、環境基準に不適合を示す。

No	年度		S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
	測定局名											
51	新逗子駅前	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
52	鎌倉市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	鎌倉市滑川	※	—	—	—	—	—	—	○	×	○	×
54	藤沢市役所		○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
55	藤沢市湘南台		—	—	—	—	—	—	×	×	○	×
56	藤沢橋	※	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
57	茅ヶ崎市役所		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
58	茅ヶ崎駅前交差点	※	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○
59	平塚市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	平塚市松原歩道橋	※	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
61	小田原市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	小田原市民会館	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	南足柄市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	秦野市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	秦野市本町	※	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×
66	伊勢原市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	厚木市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	厚木市金田神社	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
69	大和市役所		○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
70	大和市深見台交差点	※	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
71	海老名市役所		—	—	—	—	—	—	○	○	○	○
72	座間市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	相模原市役所		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	相模原市相模台		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	相模原市橋本		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	相模原市上溝	※	—	—	—	—	○	○	○	×	×	○
77	相模原市淵野辺十字路	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
78	愛川町角田		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	津久井町中野		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 表中の○印は、環境基準に適合していることを示し、×印は、環境基準に不適合を示す。また、※印は、自動車排出ガス測定局を示す。

(4) 浮遊粒子状物質 (SPM)

No	年度 測定局名	年度										
		S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5	
1	川崎市公害監視C	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	大師保健所	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	田島保健所	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	幸保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	中原保健所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	旧高津区役所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	宮前区鷺沼配水所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8	登戸小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
9	麻生区弘法松公園	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×
10	鶴見区下野谷小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	鶴見区生麦小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	鶴見区下末吉小学校	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
13	港北区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14	神奈川区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15	西区平沼小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	西区浅間下交差点	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17	神奈川県庁	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
18	中区加曽台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19	中区本牧	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
20	南区横浜商業高校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
21	港南区野庭中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
22	港南中学校	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23	磯子区総合庁舎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
24	磯子区滝頭	※	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
25	金沢区長浜	△	×	△	×	△	×	×	×	△	△	△
26	戸塚区汲沢小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
27	戸塚区矢沢交差点	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
28	保土ヶ谷区桜丘高校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
29	旭区鶴ヶ峯小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30	旭区都岡小学校	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
31	瀬谷区南瀬谷小学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
32	緑区都田中学校	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
33	緑区青葉台	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
34	緑区環境北部工場前	※	—	—	—	△	×	×	×	×	×	×
35	栄区犬山小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	△
36	横須賀市役所	—	—	—	—	△	×	×	×	×	×	×
37	横須賀市追浜行政C	—	—	×	×	△	×	×	×	×	×	×
38	横須賀市久里浜行政C	—	—	—	×	△	△	×	×	△	×	×
39	横須賀市西部行政C	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×
40	横須賀市衣笠行政C	—	—	—	—	△	×	×	×	×	×	×
41	三浦市三崎中学校	—	—	×	×	△	△	×	×	×	×	△
42	逗子市役所	—	—	—	—	△	△	△	×	△	△	△
43	新逗子駅前	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
44	鎌倉市役所	—	—	—	×	△	×	×	×	×	×	×
45	鎌倉市滑川	※	—	—	—	—	—	×	×	×	×	△
46	藤沢市役所	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×
47	藤沢市湘南台	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×
48	藤沢橋	※	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
49	茅ヶ崎市役所	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×
50	茅ヶ崎駅前交差点	※	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×
51	平塚市役所	—	—	×	×	×	×	×	×	×	△	△
52	平塚市松原歩道橋	※	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
53	小田原市役所	△	△	△	×	×	△	×	×	×	×	×
54	小田原市民会館	※	—	—	—	—	△	×	×	×	×	×
55	南足柄市役所	—	—	—	—	—	△	△	×	×	×	×

No	年度 測定局名	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
		56	秦野市役所	—	—	—	×	×	×	×	×
57	秦野市本町 ※	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
58	伊勢原市役所	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
59	厚木市役所	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×
60	厚木市金田神社 ※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
61	大和市役所	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
62	大和市深見台交差点 ※	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×
63	海老名市役所	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
64	座間市役所	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×
65	相模原市役所	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
66	相模原市相模台	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×
67	相模原市橋本	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
68	相模原市上溝 ※	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×
69	相模原市淵野辺 ※	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
70	愛川町角田	—	—	—	—	×	△	×	×	×	×
71	津久井町中野	—	—	—	—	×	△	×	×	×	△

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価ともに環境基準に適合していることを示し、△印は、長期的評価は適合しているが、短期的評価が不適合を示す。なお、×印は長期的評価及び短期的評価ともに不適合を示す。また、※印は、自動車排出ガス測定局を示す。

(5) 一酸化炭素 (CO)

No	年度 測定局名	年度										
		S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5	
1	川崎市公害監視C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	田島保健所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	川崎市庁舎前	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	川崎区新川通り	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5	川崎区池上新田公園	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	幸区遠藤町交差点	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7	中原平和公園	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎
8	旧高津区役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
9	高津区二子	※	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	宮前区馬絹交差点	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
11	麻生区柿生	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
12	鶴見区下末吉小学校	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13	西区浅間下交差点	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	神奈川県庁	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15	港南中学校	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
16	戸塚区矢沢交差点	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
17	旭区都岡小学校	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
18	緑区青葉台	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
19	横須賀市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20	横須賀市追浜行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
21	横須賀市久里浜行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
22	横須賀市西部行政C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
23	横須賀市衣笠行政C	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
24	三浦市三崎中学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
25	新逗子駅前	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎
26	鎌倉市滑川	※	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
27	藤沢市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
28	藤沢市湘南台	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
29	藤沢橋	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
30	茅ヶ崎駅前交差点	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
31	平塚市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
32	平塚市松原歩道橋	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
33	小田原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
34	小田原市民会館	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
35	秦野市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
36	秦野市本町	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
37	厚木市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
38	厚木市金田神社	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎
39	大和市深見台交差点	※	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
40	相模原市役所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
41	相模原市上溝	※	—	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
42	相模原市淵野辺十字路	※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
43	津久井町中野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

注) 表中の◎印は、長期的評価及び短期的評価ともに環境基準に適合していることを示し、△印は、長期的評価は適合しているが、短期的評価が不適合を示す。また、※印は、自動車排出ガス測定局を示す。